

正多面体

正二十面体

正多面体は4面体、6面体、8面体、12面体、20面体の5種類しかありません。4面体、8面体、20面体は、正三角形の面で構成されています。6面体は正方形の面で構成され、12面体は正五角形の面で構成されています。正三角形の6面で立体ができますが、これは正6面体ではありません。

正6面体はサイコロでお馴染ですが、他の4種は馴染が少ないので、型紙を作りました。

石井未来館館長 石井峻

<http://ishii-miraikan.com>

各面の記事

正三角形の20面で構成されています。そこで、20個で一組の表記が必要ですが、そのようなものは見つかりませんでした。近いものとして二十四節季せつきがあります。このうち立春、立夏、立秋、立冬を次の節気と同じ面を書けば、20面に書けます。

春分と秋分は昼と夜の時間が同じで、夏至は日照時間が最も長く、冬至は日照時間が最も短くなっています。立春、立夏、立秋、立冬は。その中間点の日です。これに連れて寒暖が変化しますが、かなり大幅に遅れます。上記の八つの節季せつきの間を三分割して、そこに16の節季せつきを置いたのですが、その名称は季節感に基づいて決められています。

尚、一年の始まりは立春です。旧正月の名前も残っています。

文字の配置

相対する面の和が21になるようにしています。ここに立春から昇順しょうじゆんに並べるのも一つの方法ですが、前半は昇順しょうじゆんに、後半は降順こうじゆんに並べる方法を取りました。こうすると、相対する面に半年後の節気を示す事ができます。

組み立て方

説明を省略しますが、解って頂けるでしょう。

正二十面体

二十四節季(立○を併記)

半年後が対面する編成

(1~10は昇順、20~11は降順)

注: 和暦の一年は立春から始まる。

